

育む『生き抜く力』

学校での防災教育



▲鳥飼東小学校の防災教育モデル授業

平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓に、市は災害予防対策や災害時の対応などを定めた地域防災計画を改定しました。同計画で重点を置いたのは「命を守る防災を実践できる人づくり」。災害は、年齢や住む場所に関わらず、全ての人に共通の課題です。

今、小中学校では防災教育を進めています。災害から生き抜く力を養うとともに、地域への愛着や、人を思いやる心を育くんでいます。それは生涯、生かされる力です。人づくりはまちづくりにつながっています。防災教育を受けた子どもたちが大人になり、学んだ力が家庭や地域で継承されていくことで、摂津市を災害に強いまち、心豊かなまちに成長させていきます。

震災に学ぶ 生き抜く教育

市では、小中学校の普段の授業に防災を取り入れようと、その手引き書を作成しています。防災教育の必要性は、東日本大震災が教訓となっています。

摂津市の地域防災計画では、東日本大震災を教訓に、「防災を実践できる人づくり」を、10年20年と長期的に継続して取り組むことを目指しています。

昨年7月からは、小中学校での防災教育カリキュラム作りをスタートさせました。河川が多い摂津市の特性を踏まえ洪水災害を対象とし、学校教育の9年間で、防災に対する姿勢と知恵を育んでいくことを目指としています。

カリキュラムの作成にあたっては、各学校から選ばれた防災教育担当教員15人が、これまでに7回のグループワークを行いました。当初、

「防災教育は避難訓練」「普段の授業だけで時間がない」といった意見が出されていましたが、防災教育の先進校の取り組みを学ぶことにより、次第に教員の意識も変化。「災害から命を守ることだけではなく、どんな児童・生徒になってほしいか」が議論され、指導の内容及方法が検討されました。

昨年11月には、市内2小学校でモデル授業を実施し、授業の進め方や効果などを検証。具体的な学習指導案を示した「摂津市防災教育の手引き」は今年3月末に完成予定で、新年度から普段の授業に防災を組み込んでいきます。

「釜石の奇跡」に学ぶ

市防災教育の手引き作成にあたり手本としたのは、平成16年から防災教育に取り組んできた岩手県釜石市。東日本大震災の時、小中学生ほぼ全員が避難できた「釜石の奇跡」は、防災教育が実を結んだ事例として広く知られています。

同市で指導にあたった群馬大学大学院の片田敏孝教授を防災アドバイザーとして迎え、摂津市が目指す防災教育とは何かをまとめました。

住むための作法を知る

自分たちが生活する地域にどのような災害の危険性があるのかを知ることが大切です。釜石市では、津波の特性や逃げ方を小中学生に教えていました。

摂津市には淀川や安威川など多くの川が流れています。水の恵みを受けた豊かな土地である一方で、これまで多くの水害に見舞われてきました。自然の恵みと災いの両面から、この地に住む「作法」を教え、地域に対する愛着や誇り、摂津市を大切に育んでいきます。

自分で考える力を育む

釜石市の小中学生が避難できたのは、その場その時の状況に応じて自分で考え行動したからです。大切な人の命を守るために今できることを「我がごと感」を持って考え、実践していく防災教育が大事です。

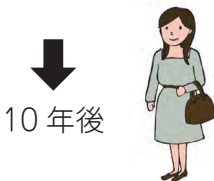
子どもたちが主体的に考え行動していく大切さを防災を通じて教えていきます。

10年経てば大人になる
さらに10年経てば親になる

学校で防災を継続して教えていくことは、「防災を当たり前の備えとした地域づくり」につながっていきます。



防災教育を受けた
子ども



大人になる



親になる



▲津波から避難する釜石市の小中学生
(平成23年3月11日被災地住民が撮影)

先進事例の視察 能登町立小木中学校

優れた防災教育の取り組みを表彰する「ぼうさい甲子園」で5年連続受賞している石川県能登町立小木（おぎ）中学校。市の職員と教職員が同中学校を視察しました。

東日本大震災をきっかけに、生徒たちが「小木に津波が来たらどうなるのか」と考えたことから、平成23年度に防災教育が始まりました。「犠牲者を一人も出さない地域づくり」を合い言葉に、学校と地域が一体となった取り組みが進められています。

地区全体の避難訓練を実現

地区では避難訓練をやったことがなく、自主防災組織もありませんでした。自分たちに何かできる

石川県能登町立小木中学校

小木中学校は、九十九湾に面した漁師町の能登町小木地区にある学校です。同校の防災教育は、子ども的人格形成や主体性を育む教育の一環として行われています。

生徒は、避難訓練の参加者を増やそうと、保育園や高齢者と遊びやスポーツを通じた交流を始め、訓練への参加をお願いしました。交流は、顔見知りになることで協力する思いを持ってもらうためです。そして、生徒たちの活動を見ていた大人たちが動き出し、平成24年、地区に自主防災組織が結成されました。今では町の健康クラブや隣の中学校とも防災活動を通じた交流を行っています。

これはないかと考えた生徒たちは、住民に聞き取り調査を開始。「逃げても仕方がない」「年寄りはいいわ」との返事に、津波避難訓練が必要だという意識が高まりました。まず、住民に危険箇所を知らせるハザードマップを作成し、全家庭に配布。避難経路図も作成しました。また、生徒会主催で住民と「津波を考える会」を開催するなどのかいがあって、避難訓練が実現。300人の住民が参加しました。

一視察時に見た防災の工夫



①夜間に避難経路を灯す
避難経路沿いに設置されたペットボトル。ペットボトルに太陽光発電装置をつけ、夜間に経路を灯します。旅行者や外国人も行動できるよう、英語標記の避難誘導看板も作成しています。



②体操と防災のコラボ
高年齢者に、健康づくりをしながら防災の意識を高めてもらうために、生徒と大学生とで作った防災体操。生徒は、小学校に向いて体操を教えるなどの交流も行っています。

一視察を終えて

生徒たちが災害から地域を守るために始めた活動は、住民の意識や地域を変えるとともに、生徒たちを変えたことがわかりました。住民から感謝や応援の言葉をかけてもらうことで生徒の自己肯定感が高められたこと、住民の思いを聞く中でコミュニケーション能力が高まり、さまざまな人たちとの交流が深まったことなどです。

その結果、いじめがほとんどなくなったり、学力の向上にもつながったりと、防災教育は生徒たちに大きな影響を与えるものだと実感しました。

また、防災教育を進めるにあたっては、教職員が積極的に地域に出たり、常に注意深く見守って児童・生徒たちの声を聞き、やる気を引き出すことが大切だと感じました。

心の成長を育む 市の防災教育

新年度から、小中学校の授業で防災を教えていきます。どのような授業を行うのか、その方法や考え方を紹介します。

常持ち出し袋に何をを入れるのか、など防災に特化した授業も行います。

り、授業での経験を将来にわたって生かしてほしいと考えています。

教科と防災を組み合わせる

学校での防災教育の狙いは、繰り返し学習することで、防災を当たり前のものとして児童・生徒に定着させることです。

そこで、普段の教科に、災害や防災を関連づけた授業を行います。例えば、国語の授業で読書の時間

に「洪水に関する図書を読む」、数学の授業で「1時間に降る降水量の計算をする」といった方法です。学齢に合わせて教えるので児童・生徒が理解しやすく、特に意識せず災害や防災のことを学ぶことができます。また、道徳や総合的な学習の時間に、「避難する場所や方法」「非

どの授業でも力を入れるのは、自分で考えて、判断させること。例えば、洪水災害を事例に「どこへ逃げるか」といった問題を出し、意見を出させたり、話し合う時間を設けたりします。知識として防災を学んでも災害時の行動に100点の解答はありません。災害時、命を守る行動を自分で探し、答えを導く力を授業で育んでいきます。自分で物事を判断する力は、災害に限らず必要であ

防災教育を通して、人の気持ちを考え、思いやる心を育てます。児童・生徒が学校で学んだことを家庭で話し、家族の命を考えることは「家族とのつながり」を深めるきっかけになります。また、地域の一人として、災害の危険にさらされるうな人のことを考えたり、地域の危険箇所を知ったりすることで「地域とのつながり」を深めることが期待できます。

防災教育の進め方

● 普段の教科に防災を関連づける

	読書の時間	+	洪水に関する図書を読む
	比例・反比例の問題	+	1時間に降る降水量の計算
	天気の変化を学習	+	警報や注意報を学ぶ
	校区探検	+	避難経路や危険箇所の確認
	デザインや工芸	+	危険箇所マーク・標識づくり

● 道徳や総合的な学習の時間に行う

	・避難する場所や方法 ・非常持ち出し袋に何を入れるのか ・避難する、しないの判断など
--	--

幼稚園・保育所では

● 防災カードゲーム



市は、園児たちに防災を学んでもらおうと、昨年9月に、遊びながら防災を学べるカードゲームを、公・私立全ての幼稚園・保育所などに配布しました。カード表面には災害の絵が、裏面には災害に備えてポーズを取る動物の絵が描かれています。先生が「地震が来た」の絵を見せた後、園児は「頭を守るポーズ」を取る、というように、自然と防災への備えが学べるように工夫されています。

学校で防災教育を進めていくにあたって、授業の進め方や効果、児童の反応などを検証するため、総合的な学習の時間に、モデル授業を行いました。

摂津小学校 5年2組

授業のテーマは地震で「もし学校が避難所になった時、自分たちにできること」。児童からは活発な意見が出されました。

先生

学校が避難所になった時、どんなことが困るかな？

児童

- ・水や食べ物がないと思う
- ・ケガをしたときに薬がない
- ・お風呂がない
- ・暑いとき、寒いとき大変
- ・丸見えになる



先生

避難所で生活している人はどんな気持ちだろう？

児童

- ・足、腰が痛いから重いものが持てない
- ・いつになったら家に帰れるのかな
- ・早く友達に会いたい



先生の声

摂津小学校5年2組担任
柴田大貴 先生



防災が思いやりの心を育む

11月24日、防災教育のモデル授業を実施しました。テーマは「もし学校が避難所になった時、自分たちにできること」。大地震が発生した時を想定し、児童たちに地震で火災が発生している状況や避難所の映像を見せてイメージしてもらい、意見を発表してもらいました。

授業の狙いは、災害の恐怖や知識を教えることではなく、避難した人たちのことを思い、相手の立場に立って考えることで、思いやりの心を育むことです。

「避難所生活をするようになったら、どのようなことが困るか」の質問に、「食べ物がない」や「寒い」

など活発に意見が出される中、一人の児童が「丸見えになる」という回答をしました。これは想定していない答えでした。プライベートという難しい言葉を、自分自身の言葉で表現した答えだと感じました。

「避難した人たちに自分ができること」について、授業の後、児童にレポートを提出してもらいました。小さい子やお年寄りに対して、お菓子や毛布を配ってあげたいという意見がたくさんありました。誰かに言われたからするのではなく、相手を思いやる心を学ぶ中で、自分の考えを前に出すことは、いい勉強になると思います。

さらに、児童には防災について学校で学んだことを、家庭で話題にしてほしいです。例えば、災害が起こった時、家族みんなが別々の場所において携帯電話が使えない場合はどこに避難するのか、非常持ち出し袋には何を入れておくのかなどを話し合うことは、家族とのつながりを深めることだと思います。また、避難経路を考えることは、自分が住んでいる地域を知ることにもなります。

児童には、防災を通して家族のことを思い、地域のことを好きになってほしいと願っています。

先生の声

鳥飼東小学校4年1組担任
三好達也 先生



心のアンテナを広げてほしい

11月28日に実施した防災教育のモデル授業のテーマは「洪水が起きたら」。台風が接近して学校が休みになった時などさまざまな状況に対して、避難するかしないかを児童に考えてもらうための授業です。

児童は、黒板に書かれた「避難する」「避難しない」の2つの枠のどちらかにカードを貼り、自分の考えを示します。その後、なぜそう考えたのかをペアで意見交換します。授業のポイントには、黒板にカードを貼ることで、自分の考えをみんなに見る形で示すこと。これは自分の考えに責任を持つことにつながります。ペアで話し合うことは、考

えを相手に伝えるための学習になります。それは、一対一で話し合うことで、グループでは得られにくい参加意識や意欲を養えるからです。

一人の児童の答えは印象的でした。「家の1階の床の上まで水が来た」という状況に対して、児童は「家はマンションの6階だから、避難しない」と答えたのです。一般的な授業では、問題に対して答えがあります。防災においても「避難勧告が出された場合、避難する」のが正解だと考えがちです。しかし、状況によっては児童の答えが、その時、命を守る最善の方法かも知れません。防災を学ぶ意義はそこにあると思います。答えのない問題に対して、いかに自分で考えるかが大切です。さらに感心したのは、その児童の意見に対し、他の児童が、そういう考え方もあるのかと理解を示したことです。

防災知識だけの教育では意味がありません。防災の学習を通じて、相手を思いやる心、対話する力、自分の考えを持つこと、そして人とつながることなど、児童が社会に出て役に立つことを学ぶことが大切です。児童には、防災を通じて、いろいろなことに心のアンテナを広げてほしいと思います。

鳥飼東小学校 4年1組

授業のテーマは「洪水が起きたら」。状況に応じて避難するかどうかを児童たちは真剣に考えました。

先生

- こんな時、避難するか、しないか考えてみよう！
- ①台風が接近して学校が休みになった
 - ②隣の家の人が避難所に避難した
 - ③家の1階の床の上まで水が来た

児童

①台風で学校が休み

・大丈夫だと思うから、避難しない方にカードを貼る！

②隣の家の人が避難

・僕の隣の家の人は、情報をたくさん知っているから避難する
・僕はしない。自分の判断が大事だから

③家の1階まで水が来た

・避難するけど、危険かも
・僕の家はマンションの6階だから、避難しない

